

令和4年度事業計画書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

令和3年度は、姫路市文化センターの閉館と姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)の開館という大きな節目を迎え、コロナ禍中でありながら多くの観客が記念公演に足を運んだ。

令和4年度は、これまでの事業実施の成果を踏まえつつ、舞台芸術公演や市民参加型事業等の文化振興事業を通して、芸術文化の振興、普及に努める。施設管理業務においては、経費の節減を図りながら、来館者の安全性の確保と市民サービスの向上を行い、適切な運営に努める。

特に、アクリエひめじ開館記念として、小曾根真 featuring No Name Horses、オーケストラ・シンフォニックコンサートなど、多彩な大型公演により、鑑賞の裾野を広げると共に交流人口増とにぎわい創出の一翼を担っていく。また、昨年オペラ「千姫」で好評を博した芸術監督・池辺晋一郎作曲の大河ドラマ曲を中心としたテーマ音楽コンサートにより、ドラマティックに姫路市の魅力を発信する。前年度に引き続き、姫路市ジュニアオーケストラ、キャスパシアタープロジェクトの演劇活動等、若い世代がプロフェッショナルな世界に触れることのできる芸術文化活動の場を提供し、次世代の育成に寄与していく。姫路市書写の里・美術工芸館においては、学芸業務や体験教室等の育成・普及事業を通し、幅広い世代を対象として、郷土の工芸に根付く生活文化の再発見や感性を育む場を提供する。

国際交流事業においては、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進する。市民の国際交流への理解と関心を高めることにより、諸外国との相互理解と友好親善を深め、さらに世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指す。

特に、在住外国人のコロナ禍中における社会的な孤立を防ぐべく、コミュニケーションの場を創設・維持し、適時性のある情報発信と相談窓口の充実を図る。同時に、若い世代の異文化理解を推進するきっかけとなる海外姉妹都市の若者との交流体験をはじめ、市民に開かれた講座やイベント、姉妹都市交流等の国際交流体験の提供を通して、アフターコロナの国際都市ひめじの環境醸成に努める。

その他、時節をとらえ柔軟に事業の形を整えて展開することにより、文化芸術・国際交流分野だけの振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深め、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与していく。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

- 公益目的事業1 (略＝〔公1〕) 音楽・演劇等の公演事業
- 公益目的事業2 (略＝〔公2〕) 文化振興のための育成普及事業
- 公益目的事業3 (略＝〔公3〕) 博物館の企画展示事業
- 公益目的事業4 (略＝〔公4〕) 文化施設の貸与及び管理運営事業
- 公益目的事業5 (略＝〔公5〕) 国際交流事業
- 収益事業1 (略＝〔収1〕) 管理運営施設等の物品販売事業
- 収益事業2 (略＝〔収2〕) 文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
- その他事業1 (略＝〔他1〕) その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施する。

1 アクリエひめじオープニングシリーズ

播磨地域の文化交流拠点として開館する姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)のオープンを記念してハイレベルな大型公演事業を実施し、新しい文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点の誕生をプロモーションするとともに、新施設のイメージアップを推進する。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	キャスパシアタープロジェクト ～U-25 が挑戦する、新しい 演劇のカタチ～ 「音楽劇 かがみの孤城」 〔公1〕	R4.4.2(土) ～4.3(日) 【3回】	アクリエひめじ 中ホール	令和元年度まで実施していた「高校生による演劇公演」の後継企画として、令和2年度から新たに立ち上げたプロジェクト。 若い世代の人たちが文化に触れるきっかけや成長できる機会を創り、世界を広げていく場所とする。
2	絢香×パシフィックフィルハーモニア東京 姫路公演(仮) 〔公1〕	R4.8.29(月) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	「I believe」「三日月」などを代表曲とするシンガーソングライター絢香が飯森範親(指揮)率いる新星パシフィックフィルハーモニア東京(旧東京ニューシティ管弦楽団)の演奏で贈るコンサートを実施。
3	ポップシンフォニックコンサート(仮) 〔公1〕	R4.10.17(月) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	子どもから大人まで気軽に音楽を楽しめるシンフォニックコンサートを実施予定。 演奏は日本センチュリー交響楽団。 出演者調整中。
4	池辺晋一郎プレゼンツ 大河ドラマコンサート(仮) 〔公1〕	R4.11.16(水) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	池辺芸術監督が作曲した大河ドラマのテーマ曲「独眼竜政宗」「八代将軍吉宗」「元禄繚乱」などで贈るオール大河ドラマコンサートを実施予定。 また、大河ドラマ「千姫」の実現を目指し、オペラ「千姫」より再編曲を演奏予定。
5	野村萬斎×杉本博司 「三番叟 ～神秘域」(仮) 〔公1〕	R4.12.25(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	狂言師・野村萬斎出演、現代美術作家・杉本博司氏の構成・美術による「ディヴァイン・ダンス 三番叟～神秘域(かみひそみいき)～」を上演。
6	小曾根真 featuring No Name Horses 〔公1〕	R5.2.11(土・祝) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	小曾根真率いる総勢15名のビッグ・バンド、「No Name Horses」の全国ツアー姫路公演。 メンバーはいずれも自身のバンドでリーダーを務める日本を代表するジャズ・ミュージシャン。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
7	反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オー ケストラ 姫路公演(仮) 〔公1〕	R5.2.22(水) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	令和3年(2021 年)第18回ショパン国際ピアノ コンクールで日本では半世紀ぶりの第2位を 受賞した反田恭平がプロデュースし、ソリストと しても活躍する同世代の実力派アーティストに 声をかけ立ち上げたアンサンブルが姫路に登 場。
8	YAMATO meets Classics 宮川泰×羽田健太郎 二人の宇宙戦艦ヤマトコ ンサート 〔公1〕	R5.3.11(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	世界的に人気を集める日本のアニメーション の歴史を語るうえで欠かせない「宇宙戦艦ヤ マト」。 当時音楽を担当した宮川泰と羽田健太郎が 手掛けた2つのシンフォニック作品によるコン サートを、宮川泰の長男である宮川彬良指 揮により開催する。出演者調整中。

2 音楽のまち・ひめじ

姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進する。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第25回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	R4.5.5(木・祝) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式によ り企画・立案、広報、チケット販売を行う。 【出演】メガトーンジャズオーケストラ、サンデ ー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキ ャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド 部 他 計10団体
2	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	R4.5.26(木) R4.9.29(木) R5.2.12(日) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相な どを織り込みながら進行する、オリジナル音源 による CD コンサート。
3	楽器講習会 播磨国吹奏楽団演奏会 〔公1〕	R4.5.28(土) R4.5.29(日) 【3回】	アクリエひめじ 中ホール	吹奏楽講習会をリニューアル。 地元・関西を中心に活動している若手のプロ 演奏家を集結させた「播磨国吹奏楽団」による コンサート。 前日には西播吹奏楽連盟に加盟している吹 奏楽部を対象に楽器講習会を開催し、さらな る吹奏楽の普及・向上を図る。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
4	姫路市ジュニアオーケストラ 第1回定期演奏会 〔公1〕	R4.7.3(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	小学生4年生から25歳までの約40人の「姫路市ジュニアオーケストラ」団員が、令和2年8月結成時より、約2年間の練習やプレ公演を経て、第1回目の定期演奏会を開催し、音楽文化の育成・発展を目指す。 指揮は山下一史、ゲストは三浦章宏(ヴァイオリン・東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)を迎え、清元秀泰団長、池辺晋一郎芸術監督とともに「姫路市ジュニアオーケストラ」の第1歩とする。
5	池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう」 第3回 バッハ 第4回 ベートーヴェン 〔公1〕	R4.7.18(月・祝) R4.12.3(土) 【2回】	パルナソス ホール	池辺芸術監督企画による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えた演奏会。 クラシック音楽の入門編としてより身近に音楽に触れる機会を設ける。
6	0歳からのクリスマスコンサート 〔公1〕	R4.12.11(日) 【1回】	パルナソス ホール	パイプオルガンの演奏で普段入場が難しい0歳のお子様から音楽に親しめるクリスマス演奏会。
7	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【6回】	パルナソス ホール	原則第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。 出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図る。

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第25回 姫路パルナソス音楽コンクール 第25回 姫路パルナソス音楽コンクール受賞者演奏会 〔公1〕	R4.5.14(土) 予選 R4.5.15(日) 本選 【2回】 R4.10.23(日) 【1回】	パルナソス ホール パルナソス ホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路地域における音楽活動の支援を目的とするコンクール。 審査員長は芸術監督の池辺晋一郎が務め、更なる音楽的レベルの向上と若手演奏家の活動支援の一助を目的に内容を変更し実施。 コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団メンバーによる演奏会も実施。
2	第22回上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」 〔公2〕	R4.7.28(木)～7.31(日) 【4回】	パルナソス ホール	講師は、上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授)。ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。

3	バロック in 姫路 〔公1〕	R4.11.27(日) 【1回】	パルナソス ホール	ホールの特性、音響の良さを生かした古楽器演奏会。 【出演】バルトルド・クイケン(バロック・フルート)、大塚直哉(チェンバロ)他
4	合唱シリーズVol. 3 千原英喜の世界 〔公1〕	R5.3.25(土) 【1回】	パルナソス ホール	公募した合唱団によるパルナソスホール独自企画のコンサート。作曲家の千原英喜の作品を歌い上げる。

〔パルナソス楽器普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.11 オルガンシリーズ Vol.12 オルガンシリーズ Vol.13 オルガンワークショップ 〔公2〕	通 年 R4.4.10(日) R4.9.25(日) R5.1.29(日) R4.8.7(日) 【各1回】	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(3クラス)、1日体験)」「オルガン紹介イベント」「オルガンコンサート」等を実施。 【講師】長田真実(ホールオルガニスト)
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通年	パルナソス ホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(【講師】湯浅宣子)を実施。
3	はじめての フルート教室 〔公2〕	通年	パルナソス ホール	楽器を通して音楽に触れる機会の提供を目的とした、初めてフルートを演奏する方対象の教室。 【協力】村松フルート製作所
4	アウトリーチ事業 〔公2〕	通年	市内小学校	“小学生への音楽教育”の一環として、移動可能ポジティブオルガンを活用し、小学生に音楽を鑑賞する楽しさを知ってもらうための出前ワークショップを実施し、オルガンの振興と普及に努める。 平成27年度(2015年度)ポジティブオルガン導入時より始まり、昨年度までで市内小学校21校実施。年々ニーズが高まる事業。 また、小学校の校外学習の一環として、パルナソスホールへオルガン演奏を聞きに来てもらう。

〔交響詩ひめじ普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第33回「交響詩ひめじ」合唱コンクール 〔公2〕	R5.2.5(日) 【1回】	パルナソスホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 【審査員】池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家)) コンクールに先立ち、12月4日(日)には、池辺晋一郎による公開合唱ワークショップも開催。
2	「交響詩ひめじ」演奏会 〔公2〕	R5.3.5(日) 【1回】	パルナソスホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体とオーケストラによるジョイントコンサート。 【お話】池辺晋一郎 【指揮】未定 【演奏】姫路市ジュニアオーケストラ(予定)

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、ホームページ、SNSで発信を行い、音楽の力で姫路を元気にする。

令和4年度は、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」などを企画。

〔姫路市ジュニアオーケストラ〕

〔公2〕

芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成することを目的として、令和2年8月に「姫路市ジュニアオーケストラ」を創設。

芸術監督池辺晋一郎(作曲家)、団長清元秀泰(姫路市長)、アドバイザー三浦章宏(ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)の指導のもと日々研鑽を積み、アクリエひめじでの定期演奏会を始め、学校の体育館や地域のコミュニティセンターに出向いて行うミニコンサートなどにも挑戦し、地域の中で文化交流の輪が広まる活動を行う。

〔文化情報広報発信〕

〔公2〕

姫路市ジュニアオーケストラの活動をはじめとする青少年への音楽普及を目指し、FM Genki 等を通じてPRに努める。

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会関連業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として開催。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	日伊共同プロジェクト 「音楽とダンスの即興戯曲 KITCHEN」 〔公1〕	R4.8.15(月) ～8.16(火) 【公演1回】 【ワークショップ1回】	キャスパホール	兵庫県西宮市、豊岡市、長野県上田市との4館連携プログラム。イタリアのプロダンサーによる公演に加え、音やリズムの楽しさ、ダンスの面白さ、食べることの素晴らしさを体感できるワークショップを開催。
2	第50回 姫路落語会 〔公1〕	R4.8.20(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	アクリエひめじでの初公演。 文化センター開館から数えて今回50回目を迎える、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。
3	第28回 キャスパ能 〔公1〕	R4.8.21(日) 【1回】	キャスパホール	能楽は、歌舞伎や人形浄瑠璃文楽と共にユネスコ無形文化遺産として世界に誇る日本の代表的な古典芸能である。 江崎家をはじめとする地元在住の能楽師の担い手である姫路能楽会と協力し、生の舞台を市民に提供する。
4	第31回 こころの祭 姫路 〔公2〕	R4.11.11(金) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。公募制。
5	第31回 キャスパ寄席 〔公1〕	R4.11.19(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定。
6	鄭義信演劇公演(仮) 〔公1〕	未定	キャスパホール	姫路出身の劇作家、脚本家の鄭義信が手がける演劇公演を実施。
7	文化事業連絡会 〔他1〕	年間 【2回】	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画。
8	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行う。

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊2, 800部

- ① 124号(夏号) 特集: 未定
- ② 125号(秋号) 特集: 未定
- ③ 126号(冬号) 特集: 未定
- ④ 127号(春号) 特集: 未定

5 「文化情報姫路」の制作 [公2]

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開する。令和4年5月号から、紙面とウェブサイトを通じたデジタルデータでの提供を行う。

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公2]

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図る。

7 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地域の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出する。

8 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説等を実施し、市民文化の向上と姫路市のPRに努める。

【開催日】4月26日(火)

【開催場所】夢乃井(大盤解説は姫路キャスパホール)

9 第76回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、能楽、民謡、演劇、茶華道など各分野で活躍する郷土の約180団体、約4,000人の参加を得て18の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらう文化の祭典。

【開催日】10月29日(日)～11月27日(日)

【開催場所】アクリエひめじ、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館

10 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行う。

【授賞式】3月24日(金)

11 文化国際交流団体名簿発行(改訂版) [公2]

平成31年版(平成31年3月発行)の姫路地方文化国際交流団体名簿の改訂版を発行し、文化団体、国際交流団体の活動情報収集、および連携を図る。

12 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施する。

(1) 企画展 [公3]

NO	展覧会名	会期	内容
1	【春季特別展】 姉妹都市提携50周年 鳥取の美術工芸と民藝	R4.4.16(土) ～6.12(日) 50日間	1616年に第3代姫路藩主となった池田光政が、翌年に鳥取藩主となるなど、両市は歴史的に関わりが深く、姉妹都市提携(昭和47年(1972年)3月8日)を締結している。 令和4年(2022年)に姉妹都市提携50周年を迎えることを記念し、鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など約60点を展示紹介する。
2	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 青森県の諸玩具	R4.4.20(水) ～8.18(木) 103日間	金魚ねぶた、八戸の八幡馬、弘前の土鈴など約80点を展示。
3	【夏季特別展】 日本陶芸美術協会 姫路展～第9回陶美展作品を中心にして	R4.6.18(土) ～8.28(日) 61日間	全国各地で活躍する陶芸家が集結して平成24年(2012年)に設立された「日本陶芸美術協会」による公募展。重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む、会員100名の作品及び、公募審査による入選作など約70点を集め、優れた陶芸作品を一堂に会する。
4	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 神奈川県の諸玩具	R4.8.20(土) ～12.15(木) 99日間	伊勢原の大山こま、鶴岡八幡宮や円覚寺の土鈴など約80点を展示。
5	【特別展】 2022 年播磨工芸美術展	R4.9.3(土) ～10.23(日) 44日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作約30点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示する公募部門を設け、新人工芸作家の育成・発掘を図る。
6	【所蔵品展Ⅰ】 清水公照すみ・いろ・つち	R4.9.3(土) ～10.23(日) 44日間	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照(1911-1999)は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの名品で公照の造形に親しむ。
7	【秋季特別展】 はしもとみお木彫展～カタチの生まれるところ	R4.10.28(金) ～12.24(土) 48日間	兵庫県出身のはしもとみお(1980-)は、動物彫刻作家として活躍している。素材の木に新たな命が吹き込まれ、犬や猫などのさまざまな動物の木彫り作品が生み出される。本展では「いきものたち」をテーマに、作品約150点を紹介する。
8	【企画展】 はりこ絵付けコンクール展	R4.12.10(土) ～12.24(土) 13日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。募集作品を展示。(審査員:松尾隆[姫路はりこ職人])
9	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 宮崎県の諸玩具	R4.12.17(土) ～R5.4.6(木) 83日間	佐土原のうずら車、延岡の昇り猿、鶴戸神宮や青島神社の土鈴など約80点を展示。
10	【新春特別展】 播磨に息づく匠の技	R5.1.6(金) ～3.5(日) 50日間	姫路を中心とした播磨地域では、古くから木を用いて優れた工芸品が数多く作られてきた。5回目となる本展は播磨地域に縁のある伝統工芸作家6名の作品約30点を展示し、伝統的な技に裏打ちされた木工や漆芸の匠の技に迫る。

NO	展覧会名	会期	内容
11	【所蔵品展Ⅱ】 清水公照の世界	R5.1.6(金) ～4.9(日) 79日間	昭和50年(1975年)に奈良東大寺別当(住職)に就任した清水公照は、各地の窯元・工房を訪ね全国の工芸作家と親交を深めた。そこで収集したコレクションは多数に及ぶ。代表的なコレクションを館蔵品から約40点展示し、併せてその交友の足跡を辿る。
12	【企画展】 播磨の工芸品名選展	R5.3.11(土) ～4.9(日) 25日間	館蔵品を中心に、陶芸、染織、木工、金工、革工芸などの播磨地域の工芸品に焦点をあてて、その魅力を味わう機会を設ける。
13	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを最長2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示。

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施する。

- ① 書写山新緑まつりイベント 4月下旬～5月上旬
- ② 開館記念日(28年)イベント 7月3日(日)
- ③ 秋季の観光促進イベント 10月下旬～11月上旬
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月中旬

また、陶芸、染織、革工芸、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施する。

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

【実 演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

【実演日】土曜日、日曜日、祝日(一部不定期)

(4) 常設展や企画展の付帯事業として図録等関連商品の販売を行う。 [収1]

Ⅱ 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施する。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供する。年3回実施予定。

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供する。年24回実施予定。

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② フェニックス市からの姉妹都市提携45周年記念訪問団レセプション
- ③ アデレード市からの姉妹都市提携40周年記念訪問団レセプション
- ④ アデレード市姉妹都市提携40周年記念訪問団派遣

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間	
フェニックス市	高校生	4	7月～8月	2週間
アデレード市	高校生	5	7月～8月	2週間
クリチーバ市	高校生	5	7月～8月	2週間
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	8	7月～8月	10日間
昌原市	中学生	10	7月～8月	1週間
太原市	中・高校生	10	7月～8月	1週間
コンウィ城	中・高校生	5	7月～8月	2週間

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間	
フェニックス市	高校生	4	7月	2週間
アデレード市	高校生	5	9月～10月	2週間
クリチーバ市	高校生	5	1月	2週間
昌原市	中学生	10	12月～1月	1週間
太原市	中・高校生	10	8月	1週間
コンウィ城	中・高校生	5	10月～11月	2週間

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行う。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA! ひめじ」発行	年4回	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) ※日本語は、通常版とやさしい日本語版で発行。 ※また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を年1回開催する。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供する。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書により事業実施状況を報告する。

種類	発行回数及び部数		内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回	1, 500部	事業紹介及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回	各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回	1, 500部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付する。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供する。

(6) 「広報ひめじ」記事のやさしい日本語化 [公5]

日本語に不慣れな外国人に速やかな情報提供を図るため、姫路市の広報誌「広報ひめじ」の中から、外国人に必要な記事を選んでやさしい日本語に翻訳する。「広報ひめじ」に掲載したQRコードから財団ホームページへ移動して、やさしい日本語で記事を読むことができる。

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行う。初級6クラス、中級1クラス各10名。年3期(5～7月／9～11月／12～3月)各10回開催予定。

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行う。また、在住外国人児童・生徒の居場所づくりを行う。

(2) 市民のための外国語講座

市民に、外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図る。姫路獨協大学との共催事業。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催する。

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催する。年2回実施予定。

(5) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。相談員が話すことができない言語でも、翻訳機を使って相談に応じる。

開催場所	曜日	時間	相談員が話せる言語
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語、フランス語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～16時	中国語、ポルトガル語、 スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

(6) 地域交流事業

地域で暮らす外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりを促進する。年2回実施予定。

また同様の事業を実施する団体に助成するほか、姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可する。

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアボリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

【開催日】10月30日(日)

【会 場】大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

【開催日】2月19日(日)

【会 場】イーグレひめじ

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業

〔他1〕

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時募集し、登録を受け付ける。

事業名	対象者	内容
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業を行う。 ① ボランティアによる日本語学習者支援 日本語学習者を対象とした事業やイベントの実施 ② ボランティアによる在住外国人向け情報誌の制作(企画・取材・翻訳・編集) ※またボランティアは、海外姉妹都市青少年交流事業において、青少年派遣時に研修アシスタント、受入時に財団プログラムに参画する。

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を目指す。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施する。また、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することにつなげる。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理する。

1 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

(1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)

アンテナショップとして、適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。

(2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。

(3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。

2 パルナソスホールの管理運営

(1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付等事務)

適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。

(2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。

(3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。